

SONY
make.believe

Report 2011

2011年3月期 報告書

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2010年度(2010年4月1日から2011年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、まず、このたびの東日本大震災により被災されました方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

ソニーはこの数年間、ハードウェア、コンテンツ、ネットワークサービスの戦略的融合を積極的に推進し、同時に、生産・物流・調達・カスタマーサービス、グローバルセールス&マーケティング、研究開発・共通ソフトウェアといった横串プラットフォームを設置し、競争力と収益力の改善を着実に実行してまいりました。加えて、経済成長により需要が拡大する新興国市場において上位機種からエントリーモデルまでの製品を展開し、積極的に売上拡大に努めました。この結果、2010年度の連結営業利益は、為替の悪影響を大きく受けたものの、前年度に比べ約6.3倍と大幅に増加し、1,998億円となりました。

2010年度の期末配当金につきましては、前年度と同額の1株につき12円50銭とし、本年6月9日を支払開始日とさせていただきます。2010年12月に1株につき12円50銭の中間配当金をお支払いしておりますので、年間配当金は25円となります。

ソニーは、2009年11月に、中期的な業績目標として2012年度までに連結営業利益率5%、株主資本利益率10%を達成することをめざすと発表しました。しかし、著しい為替変動及びコンシューマー・エレクトロニクス市場における価格競争激化などによりその後の事業環境は不透明さを増し、また、2011年3月には東日本大震災が発生したこともあり、今後の事業環境はさらに厳しさを増すことが予想されます。ソニーは、これまでの事業構造改革をベースに、本年4月1日よりスタートした新たな経営体制の下で成長戦略を推進し、この難局に立ち向かってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

去る2011年4月23日、大賀典雄相談役が81歳で逝去いたしました。大賀典雄は、1982年から2000年までの18年間にわたり社長、会長としてソニーグループの舵取りを行い、今日の「SONY」ブランドを世界的に確立いたしました。生前に賜りました長年にわたるご厚情に対し、心から御礼を申し上げます。

2011年5月26日

代表執行役 会長 兼 社長 CEO
ハワード・ストリンガー



01

| | | | | | |
|------------|------|--------------------------------|------|-------|------|
| 株主の皆様へ | ▶ 01 | 主要連結財務データ | ▶ 17 | 株式の状況 | ▶ 21 |
| 業績ハイライト | ▶ 03 | 取締役及び執行役 | ▶ 18 | 株主メモ | ▶ 22 |
| ビジネス別営業の概況 | ▶ 06 | ソニーグループによる東日本大震災の被災地・被災者への支援活動 | ▶ 19 | | |

02

業績ハイライト

| | 2009年度 | 2010年度 | 増減率 |
|--------------------|-----------|-----------|---------|
| 売上高及び営業収入 | 7兆2,140億円 | 7兆1,813億円 | △0.5% |
| 営業利益 | 318億円 | 1,998億円 | +528.9% |
| 税引前利益 | 269億円 | 2,050億円 | +661.8% |
| 当社株主に帰属する当期純利益(損失) | △408億円 | △2,596億円 | — |
| 平均為替レート(円/米ドル) | 91.8円 | 84.7円 | 8.4%円高 |
| 平均為替レート(円/ユーロ) | 129.7円 | 111.6円 | 16.2%円高 |

連結営業利益は、為替の悪影響を大きく受けたものの、前年度に比べ約6.3倍と大幅に増加

主にゲーム事業の貢献があったネットワークプロダクツ&サービス分野の損益改善が連結営業利益の大幅な増加に貢献

日本における繰延税金資産に対する、現金支出をとみなわない評価性引当金の計上などにより、当社株主に帰属する当期純損失を計上

東日本大震災について

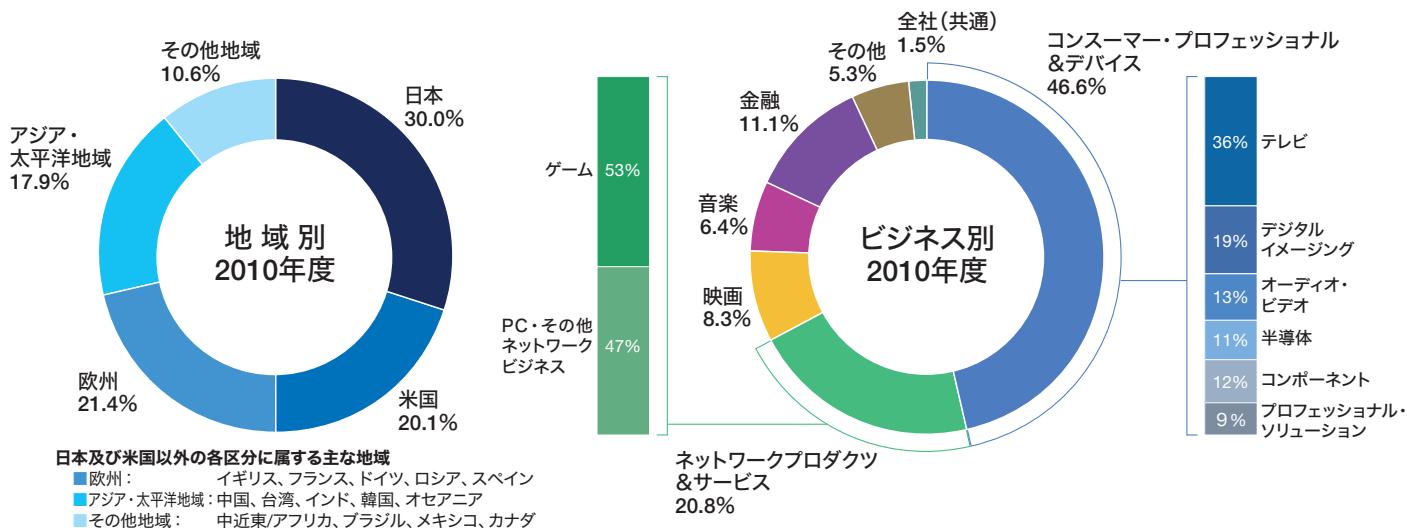
地震及びそれにとまって発生した津波による被害あるいは停電等の影響により10カ所の製造事業所が生産活動を停止しましたが、そのうちの9カ所の製造事業所が2011年4月28日までに生産活動を再開又は一部再開しています。残る宮城県多賀城市にある事業所についても、生産活動再開の計画がまとまりました。また、震災からの直接の被害を受けなかった国内外の製造事業所においては、原材料・部品などの調達状況に応じて、一時的に一部の生産ラインの稼働調整を行っています。生産活動に影響が出ている製品については、グループ内における原材料・部品在庫の再配置や代替品の使用、原材料・部品供給元の拡大などを進めることで、早期の生産回復に努めております。

ソニーのネットワークサービスへの不正アクセスについて

ソニーが運営するPlayStation®Network、Qriocity™及びSony Online Entertainmentのネットワークサービスが2011年4月にサイバー攻撃を受けました。ソニーは、不正アクセス又はデータ流出の可能性が確認された時点でサービスを停止し、複数の情報セキュリティ専門会社とともに、不正侵入及びデータ盗難の範囲について詳細かつ広範な調査を行い、不正アクセスの範囲について公表しました。そして、新たな攻撃に対する監視機能の強化、不正アクセス・不審行為の検知機能の強化、データ保護と暗号化のレベル強化などを柱とする、追加的な安全管理措置を実施しました。これらの措置を施した上、5月15日より一部のサービスを再開しました。

ネットワーク戦略はグループ全体の最重要戦略の一つであり、ソニーは、グループ全体の情報管理体制を一層強化するとともに、個人情報の保護及び安心で健全なネットワーク社会の発展に寄与してまいります。

売上高構成比

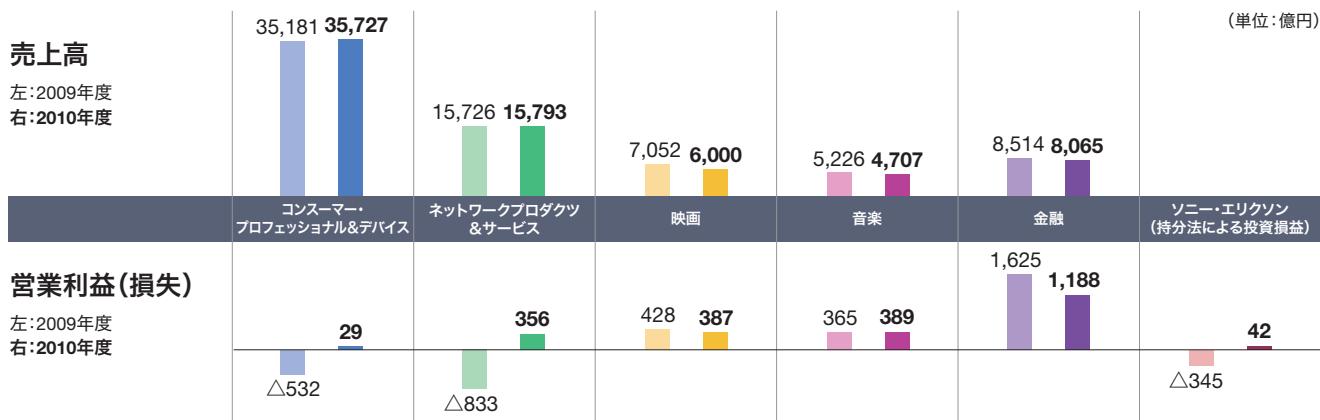


(注1) 地域別及びビジネス別の売上高構成比は、外部顧客に対する売上高及び営業収入にもとづいて算出したものです。
 (注2) 地域別の売上高構成比は、顧客の所在地別に表示されています。

05

ビジネス別営業の概況

以下の説明における各分野の売上高及び営業収入(売上高)はセグメント間取引消去前のものであり、また各分野の営業損益はセグメント間取引消去前のもので配賦不能費用は含まれていません。



(注1) ソニーは、2010年4月1日付の組織変更にともない、2010年度より、主にB2B & ディスク製造分野を従来構成していた事業を再編し、業績報告におけるビジネスセグメント区分の変更を行いました。この変更にともない、2009年度の実績を修正再表示しています。
 (注2) ソニー・エリクソン(携帯電話事業の合併会社)の持分法による投資損益については、単独のセグメントとして表示しています。2010年度においては、平均販売価格の上昇、製品ミックスの好影響、及びコスト構造の改善などにより、前年度の345億円の損失に対し、42億円の利益となりました。

06

コンシューマー・プロフェッショナル&デバイス分野

テレビ事業、デジタルイメージング事業、オーディオ・ビデオ事業、半導体事業、コンポーネント事業、プロフェッショナル・ソリューション事業などで構成されています。

売上高(3兆5,727億円) 前年度比1.6%の増加 (外部顧客に対する売上は前年度比4.3%の増加)

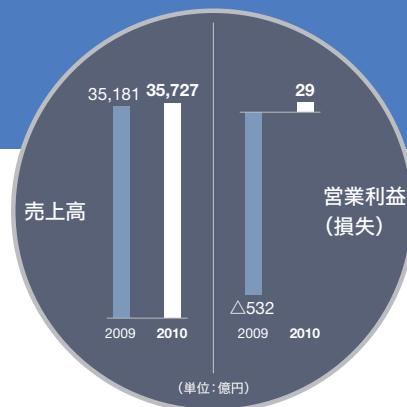
増収の要因

- 販売台数が大幅に増加した液晶テレビ、中小型液晶パネル及びイメージセンサーが好調な半導体などの増収

営業利益(29億円) 前年度比561億円の改善

損益改善の要因

- 増収による売上総利益の増加、資産の除売却損(益)・減損及びその他(純額)の減少、構造改革費用の減少
- 分野全体の損益変動にプラスの影響を与えたカテゴリー*
 - イメージセンサーの売上が増加した半導体、デジタルシネマプロジェクターなどの売上が増加したプロフェッショナル・ソリューションなど
- 分野全体の損益変動にマイナスの影響を与えたカテゴリー*
 - 販売台数が増加したものの価格下落及び為替の悪影響を受けた液晶テレビなど



*構造改革費用を除くベース

07

ネットワークプロダクツ&サービス分野

ゲーム事業及びPC・その他ネットワークビジネス事業で構成されています。

売上高(1兆5,793億円) 前年度比0.4%の増加 (外部顧客に対する売上は前年度比1.2%の減少)

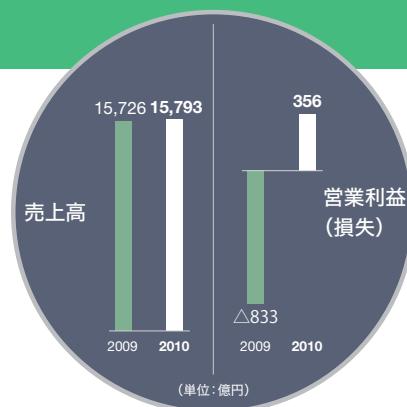
増収の要因

- 全地域で売上台数が増加しシェアが拡大したPCの増収など

営業利益(356億円) 前年度比1,188億円の改善

損益改善の要因

- 売上原価率の大幅な改善、増収による売上総利益の増加など
- 分野全体の損益変動にプラスの影響を与えたカテゴリー*
 - 「プレイステーション 3」においてハードウェアのコストの大幅改善やソフトウェア売上数量の増加があったゲーム事業など



*構造改革費用を除くベース

08



液晶テレビ(ブラビア) KDL-55HX920

3D映像も楽しめるソニーのプレミアム動画配信サービス“Video On Demand powered by Qriocity (‘キュリオシティ’ビデオオンデマンド)”をはじめとする多彩なインターネットサービスに対応し、ネットワークに接続するだけで、放送に加えて、インターネット上の豊富なコンテンツなどをお楽しみいただけます。また、高画質回路「X-Reality PRO」を搭載し、高精細化と高い色再現性を実現しています。

*3D映像の視聴には、別売の「3Dメガネ」が必要です。

ブルーレイディスクレコーダー BDZ-AX2000

「ブルーレイ3D™」や多層大容量規格「BDXL™」に対応。起動速度やマルチタスク性能も向上させ、高機能と使いやすさの両立を実現しました。3D対応の高画質回路「CREAS Pro」を搭載し、3D映像もより高精細、高階調でお楽しみいただけます。



3D撮影対応ビデオカメラ“ハンディカム” HDR-TD10



ソニー「Gレンズ」を2眼、裏面照射型CMOSセンサー“Exmor R”を2枚、高速画像処理エンジン「BIONZ」を2個搭載することにより、高画質なフルハイビジョン3D映像を撮影することができます。また、裸眼3D対応の3.5型高解像タッチパネルエクストラファイン液晶を搭載し、撮影した3D映像をその場で楽しむことが可能です。

デジタルカメラ“サイバーショット” DSC-WX7

厚さ19.1mm、重さ約120g*の薄型・軽量ボディを実現。新開発の光学5倍ズームレンズや暗所でも高画質撮影ができる1620万画素の裏面照射型CMOSセンサー“Exmor R”を搭載し、高画質なフルハイビジョン動画や3D静止画を撮影することができます。

*バッテリー・メディア含む本体質量



パーソナルコンピューター VAIO「Fシリーズ」
VPCF219FJ/BI

パソコンとしての高い基本性能に加えて、16型フルハイビジョン液晶を搭載し、3Dに対応したノートPCです。「3Dボタン」を押すだけで、2D映像を擬似的な3D映像に変換して表示することもできます*。(3D映像の視聴には、付属のアクティブシャッターメガネが必要です。)

*3D専用にて制作された映像ほどの効果はありません。映像によって3Dの効果には差があり、感じ方にも個人差があります。

“Sony Tablet” (ソニータブレット)

*2011年秋以降に順次発売予定

様々なハードウェア、ソフトウェア、ネットワークを融合でき、優れた操作性などで快適なエンタテインメント体験を提供するタブレット端末“Sony Tablet” (ソニータブレット)を発表。“Sony Tablet”は、9.4型の大型ディスプレイを搭載し、大画面上でウェブブラウジングや豊富なサービス、コンテンツを快適に操作、閲覧することが可能なコードネームS1 (写真左)と、5.5型ディスプレイをダブルで搭載し、折りたたむことでコンパクトに携帯できるデザインを採用したコードネームS2 (写真右)の2機種を展開します。



*画像は最終製品ではありません。

携帯電話 ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株



Xperia™ arc SO-01C (エクスペリア アーク) NTTドコモ向け

最薄部8.7mmとスリムでエレガントなボディに、OSには快適な操作性を実現する最新のAndroid 2.3を採用。大型4.2インチフルワイドVGA液晶、“モバイルブラビアエンジン”、“Exmor R for mobile”センサーを採用したカメラなど、充実のビジュアル・エンタテインメント機能を搭載しました。

*「Xperia」はSony Ericsson Mobile Communications ABの商標又は登録商標です。
*「Android」はGoogle Inc.の商標又は登録商標です。

電子書籍リーダー PRS-650 (左)、PRS-350 (右)

紙のように読みやすく目に優しい電子ペーパーを採用し、圧倒的な軽さと薄さを実現。約1,400冊の書籍の保存が可能なので「本棚をポケットの中に入れて持ち歩く」感覚で、いつでもどこでもその時の気分に応じて好きな本を選び、手軽に読書をお楽しみいただけます。

▶リーダー向けオンラインブックストア Reader™ Store
<http://ebookstore.sony.jp/>



「プレイステーション 3」(PS3®)

発売当初から高精細かつ高画質なエンタテインメント体験を提供するとともに、2010年4月には3D立体視ゲーム、9月には「ブルーレイ3D™」ディスク再生にも対応しました。2011年3月末には、累計売上台数が5,000万台を超え、普及拡大の勢いはますます加速しています。

©2009 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved. Design and specifications are subject to change without notice. Vertical Stand (for PlayStation®3) sold separately.



PlayStation®Move

PS3®用USBカメラ「PlayStation®Eye」と組み合わせることにより新たな楽しみを提案するPlayStation®Moveモーションコントロール。累計売上台数は2010年4月現在で800万台を超えました。専用・対応タイトルと周辺機器の拡充を通じ、PS3®で楽しめる新たなエンタテインメントの世界を積極的に広げています。

©2010 Sony Computer Entertainment Inc.



▶(株)ソニー・コンピュータエンタテインメント(SCE)のウェブサイト <http://www.scei.co.jp/>

NGP

*2011年末より順次発売予定

究極のポータブルエンタテインメント体験を提供する次世代携帯型エンタテインメントシステム(コードネーム：NGP)を発表。NGPは、SCEが実現してきた最先端のエンタテインメント体験をさらに進化させ、高品質なゲームの世界を現実に取り込みつつ、現実の体験と連動するような革新的な遊びを可能にします。

©2011 Sony Computer Entertainment Inc. All rights reserved. Design and specifications are subject to change without notice. Screen Image Simulated.



*画像は最終製品ではありません。

映画分野

米国を拠点とするソニー・ピクチャーズ エンタテインメントによる映画及びテレビ番組などの事業で構成されています。

売上高(6,000億円) 前年度比14.9%の減少

減収の要因

- 映画作品の減収と米ドルに対する円高など
 - 当年度は「ベスト・キッド」、「Grown Ups」、「ソルト」が好調に推移したものの、米国外の劇場興行収入及び全世界での映像ソフト収入が、「2012」、「天使と悪魔」、「マイケル・ジャクソン THIS IS IT」などの作品が貢献した前年度に比べて大幅に減少



営業利益(387億円) 前年度比9.7%の減少

減益の要因

- 主に米ドルに対する円高
- 米ドルベースでは、カタログ作品の映像ソフト収入の減少、及び映画作品「幸せの始まりは」の劇場興行の不振などの影響があったものの、テレビ番組の増収による好影響により、営業利益はほぼ前年度並み

13

新作映画情報



インサイド・ジョブ 世界不況の知られざる真実

©2011 Sony Pictures Classics Inc. All rights reserved.

本年度アカデミー賞®長編ドキュメンタリー賞受賞作品。2008年に起きたリーマン・ブラザーズの経営破綻(リーマンショック)を発端とする、世界中を巻き込んだ「金融危機」の真実に迫る本格ドキュメンタリー。

(2011年5月21日 日本公開)



ハンナ

©2011 Focus Features LLC. All rights reserved.

雪深いフィンランドで元CIA作員の父と二人きりで暮らし、並外れた格闘テクニックを叩き込まれた16歳の無垢な少女ハンナが、外の世界で運命の鍵を握る最凶の敵と独り対決するサスペンス・アクション。

(2011年8月27日 日本公開予定)



世界侵略：ロサンゼルス決戦

©2011 Columbia Pictures Industries, Inc. All rights reserved.

宇宙人による地球侵略。世界の大都市が次々と制圧される中、最後に残ったロサンゼルスで、民間人救出の命を受け出撃した海兵隊一個小隊が、謎の敵と繰り広げる決死の銃撃戦をノンストップで描くSFアクション大作。

(2011年9月17日 日本公開予定)

14

音楽分野

米国を拠点とするソニー・ミュージックエンタテインメント及び日本の(株)ソニー・ミュージックエンタテインメントによる音楽制作事業などで構成されています。

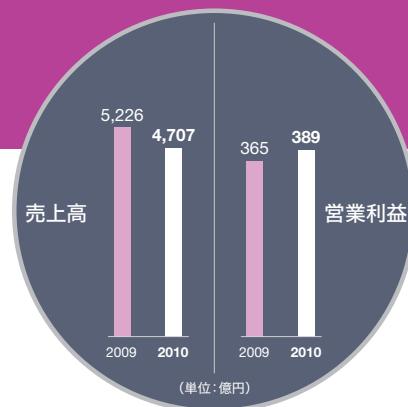
売上高(4,707億円) 前年度比9.9%の減少

減収の要因

- 主に、米ドルに対する円高の悪影響、前年度におけるマイケル・ジャクソンのアルバム売上の大変な好調、パッケージメディアの音楽市場の継続的な縮小の影響

当年度の売上に寄与した作品

いきものがかり「いきものばかり～メンバーズBESTセレクション～」、スーザン・ボイル「ザ・ギフト～夢の贈りもの」、P!NK「グレイテスト・ヒッツ」、マイケル・ジャクソン「MICHAEL」、米国の人気テレビ番組「Glee」出演者の楽曲を集めたアルバムなど



最新アルバム情報



上記アルバム左より：小田和正「どーも」、ユニコーン「Z」、ブリトニー・スピアーズ「ファム・ファタール」

営業利益(389億円) 前年度比6.6%の増加

増益の要因

- 広告宣伝費、構造改革費用、間接費の減少

金融分野

ソニー生命保険(株)(ソニー生命)、ソニー損害保険(株)、ソニー銀行(株)を傘下におくソニーフィナンシャルホールディングス(株)(SFH)などによる金融事業で構成されています。

金融ビジネス収入(8,065億円) 前年度比5.3%の減少

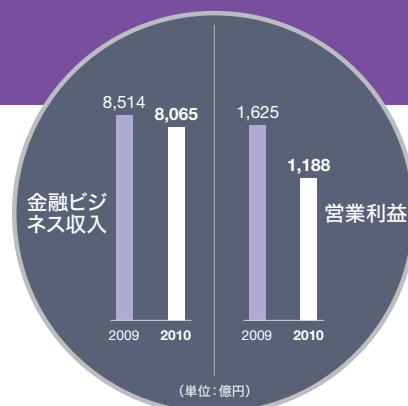
減収の要因

- 主にソニー生命の減収
 - 保険料収入が保有契約高の堅調な推移により増加したものの、資産運用収益が減少したことなど

営業利益(1,188億円) 前年度比26.9%の減少

減益の要因

- 主にソニー生命の減益
 - 前年度に日本の株式相場が大幅に上昇したことにともない一般勘定における新株予約権付社債の評価益(純額)の計上があったこと、及び当年度に日本の株式相場が下落したことなどにともない特別勘定の変額保険にかかる責任準備金繰入額が増加したことなど



*左記のソニー生命の業績は米国会計原則に則って算出されていますので、SFH及びソニー生命が日本の会計原則に則って個別に開示している業績とは異なります。

主要連結財務データ

| | 2008年度 | 2009年度 | 2010年度 |
|-------------------------------|----------|----------|----------|
| 売上高及び営業収入 | 77,300 | 72,140 | 71,813 |
| 営業利益(損失) | △2,278 | 318 | 1,998 |
| 税引前利益(損失) | △1,750 | 269 | 2,050 |
| 当社株主に帰属する当期純利益(損失) | △989 | △408 | △2,596 |
| 基本的1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)(円) | △98.59 | △40.66 | △258.66 |
| 設備投資額 | 3,321 | 1,927 | 2,049 |
| 研究開発費 | 4,973 | 4,320 | 4,268 |
| 総資産 | 120,135 | 128,661 | 129,250 |
| 純資産 | 32,166 | 32,856 | 29,366 |
| 1株当たり純資産(円) | 2,954.25 | 2,955.47 | 2,538.89 |

(注1) ソニーは、持分法による投資損益を営業利益(損失)の一部として表示しています。

(注2) ソニーは、2009年4月1日から、連結財務諸表における非支配持分に関する会計基準にしたがい、表示及び開示に関してこの基準を適用しました。これにより、従来、連結貸借対照表上の負債の部と資本の部の中間に独立の科目として表示していた少数株主持分を、非支配持分として連結貸借対照表上の資本の部に含めて表示しています。また、連結損益計算書上の当期純利益(損失)は、非支配持分に帰属する当期純利益(損失)を含めて表示しています。この基準の表示に関する規定は遡及的に適用され、過年度の連結財務諸表を組替え再表示しています。

(注3) 純資産は、米国会計原則にもとづく資本合計を使用しています。

(注4) 1株当たり純資産は、当社株主に帰属する資本合計を用いて算出しています。

17

取締役及び執行役(2011年5月1日現在)

| 取締役 | |
|--------------------------------------|--------------------|
| Howard Stringer ハワード・ストリンガー | 中 鉢 良 治 |
| *小 林 陽太郎 | *山 内 悦 嗣 |
| *Peter Bonfield ピーター・ボンフィールド | *張 富 士 夫 |
| *安 田 隆 二 | *内 永 ゆか子 |
| *矢 作 光 明 | *謝 正 炎 サンヤン・シェー |
| *Roland A. Hernandez ローランド・ヘルナンデス | *安 樂 兼 光 |
| *小 島 順 彦 | *永 山 治 |

(注) *は社外取締役です。

| 執行役 | | |
|--|---------|---------------------------------|
| 代表執行役 (CEO) | 会長 兼 社長 | ※Howard Stringer ハワード・ストリンガー |
| 代表執行役 (本社機能におけるCEOの補佐、製品安全・品質、環境担当) | 副会長 | ※中 鉢 良 治 |
| 代表執行役 (コンシューマプロダクツ&サービス事業担当) | 副社長 | 平 井 一 夫 |
| 執行役 (エレクトロニクス事業・ゲーム事業における生産、物流、調達、CSプラットフォーム担当) | 副社長 | 中 川 裕 |
| 執行役 (プロフェッショナル・デバイス&ソリューション事業担当) | 副社長 | 吉 岡 浩 |
| 執行役 (知的財産、ディスク製造事業担当) | EVP | 木 村 敬 治 |
| 執行役 (ジェネラル・カウンセル) | EVP | Nicole Seligman ニコール・セリグマン |
| 執行役 (CFO) | EVP | 加 藤 優 |

(注) *は取締役を兼務する者です。

18

ソニーグループによる東日本大震災の被災地・被災者への支援活動

東日本大震災により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。

ソニーグループでは、被災者への支援と被災地の復興のため、以下の活動を行っています。

義援金と ソニー製品提供による 支援

ソニーグループは総額4億7千万円の義援金(ソニー(株)3億円、ソニー生命保険(株)1億円、ソネットエンタテインメント(株)5千万円、ソニー銀行(株)1千万円、ソニー損害保険(株)1千万円)を社会福祉法人中央共同募金会などに寄付いたしました。また、ソニーのラジオ3万台、乾電池50万本、テレビ125台、ノートパソコン125台、キャラクター毛布1,200枚、子ども向けアニメーションDVD、音楽・映画DVDなども被災地の要望に応じて提供しました。

全世界の ソニーグループ社員による 募金とマッチングギフト

日本と海外の全ソニーグループ社員を対象に社員募金を実施しました。47の国と地域から約7万4千人が参加した結果、5月中旬時点で募金総額は約4億4千万円となりました。募金に込められた社員の気持ちを倍にするため、募金額と同額の寄付金を会社から拠出するマッチングギフトを行い、合計約8億8千万円の寄付を行っています。

社員ボランティア・ NPO支援プログラム

地震と津波の影響を受けたソニーの仙台テクノロジーセンター(宮城県多賀城市)では、社員のサッカーチームで全国地域リーグ決勝大会優勝経験もある「ソニー仙台FC」のメンバーが、



ソニー仙台FCによる
サッカー教室



ソニー仙台FC主催の
パブリックビューイング



「そらべあ基金」による
地域支援活動をサポート

近隣の子どもたち向けにサッカー教室やパブリックビューイングなどを開催しました。また、仙台地区や東京・厚木地区のソニー社員による被災地域支援活動も実施、要望に応じて清掃活動や事務作業などを行いました。さらに、被災地で子どもたちの支援をするNPO団体などに、子ども向けアニメーションDVDやテレビ、DVDプレーヤーなどの提供も行いました。

お客様の参加による 募金

ソニーマーケティング(株)、ソネットエンタテインメント(株)はそれぞれ、ソニーポイント及びソネットポイントによる寄付プログラムを実施しています。また、(株)ソニー・コンピュータエンタテインメントは、PlayStation®Networkを活用したチャリティ募金を世界で実施、ソニー銀行(株)は、お客様からの義援金の受付を行いました。

CSR(企業の社会的責任)の取り組み

ソニーは、コーポレートガバナンス(企業統治)・コンプライアンス(法令その他の規範の遵守)・品質管理体制の強化、健全な雇用・労働環境の実現、環境保全活動、社会貢献活動などを通じて、For the Next Generation(次世代のために)の精神のもと、グループ全体でCSR活動に取り組んでいます。



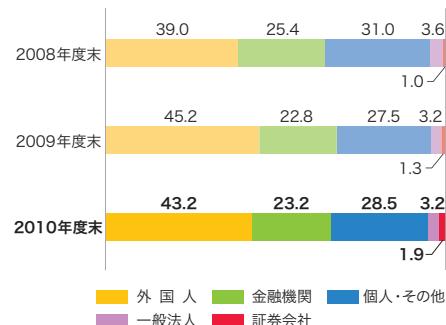
株式の状況 (2011年3月31日現在)

| | | | |
|----------|----------------|---------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 3,600,000,000株 | 単元株式数 | 100株 |
| 発行済株式の総数 | 1,004,636,664株 | 上場証券取引所 | 東京・大阪 |
| 株主数 | 698,155名 | | ニューヨーク・ロンドン |

株式の所有者別状況

| | 2008年度末 (2009年3月31日現在) | | 2009年度末 (2010年3月31日現在) | | 2010年度末 (2011年3月31日現在) | |
|----------|---------------------------|---------|---------------------------|---------|---------------------------|---------|
| | 千株 | 名 | 千株 | 名 | 千株 | 名 |
| ■ 外国人 | 391,611 | 1,394 | 453,778 | 1,400 | 434,214 | 1,377 |
| ■ 金融機関 | 254,990 | 269 | 229,011 | 220 | 232,697 | 213 |
| ■ 個人・その他 | 311,695 | 755,092 | 276,703 | 686,311 | 286,552 | 692,569 |
| ■ 一般法人 | 35,954 | 4,419 | 32,310 | 3,906 | 32,575 | 3,904 |
| ■ 証券会社 | 10,286 | 68 | 12,770 | 64 | 18,599 | 92 |
| 合計 | 1,004,535 | 761,242 | 1,004,571 | 691,901 | 1,004,637 | 698,155 |

所有者別の持株比率(%)



▶大株主の状況は、投資家情報ウェブサイトの「株式・社債情報」をご覧ください。

株主メモ

株式事務に関するお問い合わせ先

株主様の各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご留意ください。

| | |
|--------------------|--|
| 証券会社に口座を開設されている株主様 | お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。 |
| 「特別口座*」に記録されている株主様 | 当社の特別口座管理機関(兼株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料) |

* 株券電子化実施日(2009年1月5日)において「株式会社証券保管振替機構(ほふり)」をご利用でない株主様の権利を確保するために、当社が当該株主様の名義で開設した口座です。

企業情報などに関するお問い合わせ先

ソニー株式会社 IR部門 SR部
〒108-0075 東京都港区港南1丁目7番1号
☎ 0570-010-222(株主ナビダイヤル)

*受付時間 9:30~17:00(土日・祝日及び会社休業日を除く)
*全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

●携帯電話・PHSなど、ナビダイヤルがご利用になれない場合:
03-6748-2111(代表)

✉ Kabu_net@jp.sony.com(株主Eメール)

株主の皆様への情報提供について

株主の皆様のお手元にお届けしている「報告書」(年2回)に加え、四半期毎に「電子ブック版報告書」を投資家情報ウェブサイトに掲載しています。
2011年8月発行予定の第1四半期報告書では、本年の定時株主総会の模様などもご紹介いたしますので、ぜひご覧ください。



アニュアルレポートのご請求

2011年7月頃に発行予定の「アニュアルレポート2011」(年次報告書)の送付をご希望の方は、投資家情報ウェブサイト、又は下記の専用電話よりご請求ください。

☎ 0120-122-234(通話料無料)
*受付時間 9:30~17:30(土日・祝日も受付)
*受付期限 2011年7月31日まで

投資家情報ウェブサイト

<http://www.sony.co.jp/IR/>

トップマネジメントからのメッセージや業績、新製品・新技術などの情報をタイムリーに提供しています。



ソニー株式会社